

1 次の確率を求めよ。

- (1) 1つのさいころを投げるとき、1の目が出る確率。
- (2) 2つのさいころを投げるとき、目の差が6になる確率。
- (3) 2つのさいころを投げるとき、目の和が12以下になる確率。

1 【各6 - 18点】

(1)	
(2)	
(3)	

2 1から10までの数字を1つずつ書いた10枚のカードがある。このカードから1枚のカードを取り出したとき、次の問いに答えよ。

- (1) 取り出したカードが、3の倍数である確率を求めよ。
- (2) 取り出したカードが、偶数か3の倍数である確率を求めよ。
- (3) 取り出したカードが、2の倍数か5の倍数である確率を求めよ。

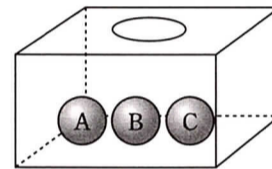
2 【各6 - 18点】

(1)	
(2)	
(3)	

3 右の図のように、A, B, Cの文字が書かれたボールが1個ずつ入っている箱がある。

このとき、次の問いに答えよ。

- (1) この箱から同時にボールを2個取り出すとき、取り出したボールの中にAの文字が書かれたボールが含まれている確率を求めよ。
- (2) この箱からボールを1個取り出して文字を調べ、それを箱にもどす。これを3回繰り返したとき、3回とも文字が異なっている確率を求めよ。



3 【各6 - 12点】

(1)	
(2)	

4 A君とB君がそれぞれ同時にさいころを投げて、出た目が大きい方を勝ちとする。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 勝負がつかない確率を求めよ。
- (2) A君が勝つ確率を求めよ。

4 【各7 - 14点】

(1)	
(2)	

5 ある中学校の卓球部には、a, b, c, d, eの5人の部員がいる。次の問いに答えよ。

- (1) この5人の中から、部長1人と副部長1人をくじびきで選ぶとき、その選び方は全部で何通りあるか。
- (2) この5人の中からダブルスの試合に出場する選手をくじびきで選ぶとき、その選び方は全部で何通りあるか。
- (3) この5人の中から、ダブルスの試合に出場する選手2名をくじびきで選ぶとき、aが選手に含まれる確率を求めよ。

5 【各10 - 30点】

(1)	
(2)	
(3)	

6 A君とB君は、それぞれ1から20までの数字を1つずつ書いたカードの入っている袋を持っている。同時に自分の袋から1枚ずつ抜き出して、数字を比べる。2人の数の積が偶数ならばA君の勝ち、奇数ならばB君の勝ちとする。A君の勝つ確率を求めよ。

6 【8点】

--	--